

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 株式会社CARTA HOLDINGS 上場取引所 東
 コード番号 3688 URL https://cartaholdings.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 宇佐美 進典
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 永岡 英則 TEL 03-4577-1453
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 2021年9月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	12,629	13.6	2,940	47.6	3,301	76.2	2,215	122.3
2020年12月期第2四半期	11,113	—	1,992	—	1,874	—	996	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 2,727百万円 (165.5%) 2020年12月期第2四半期 1,027百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	EBITDA	
	円 銭	円 銭	百万円	%
2021年12月期第2四半期	87.84	87.42	4,034	60.7
2020年12月期第2四半期	39.36	39.17	2,511	—

(注) 2019年12月期は、決算期変更の経過期間となり15ヶ月間（2018年10月1日～2019年12月31日）を対象とした変則決算となりますので、2019年12月期第2四半期は、2018年10月1日～2019年3月31日の連結経営成績を対象としております。このため、比較対象となる期間が異なることから、2020年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）は、税金等調整前四半期純利益に支払利息、減価償却費、償却費、のれん償却費、固定資産除却損及び減損損失を加えた金額です。なお、2021年度より指標の有効性向上を図るため、固定資産除却損及び減損損失を加えるようEBITDAの定義を変更しております。従前の定義による2020年12月期第2四半期のEBITDAは、2,453百万円となります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	47,651	26,369	55.0	1,035.93
2020年12月期	49,259	24,553	49.5	967.47

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 26,215百万円 2020年12月期 24,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	8.00	—	40.00	48.00
2021年12月期	—	25.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	百万円	%
通期	25,000	11.2	4,500	29.9	4,800	43.9	3,120	75.2	123.71	6,000	45.2

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	25,306,032株	2020年12月期	25,496,852株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	29株	2020年12月期	301,018株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	25,219,931株	2020年12月期2Q	25,312,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述事項についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2021年8月6日（金）に証券アナリスト・機関投資家向けの決算説明会をオンラインにて開催する予定です。その説明会の動画については、当日使用する四半期決算補足説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主力事業が属するインターネット広告市場について、株式会社電通の調べによれば、2020年のインターネット広告費は、新型コロナウイルス感染症拡大による消費の低迷および広告出稿減少の影響を受けたものの他メディアよりも早く回復基調となり、2兆2,290億円（前年比5.9%増）となりました。

運用型広告費は、巣ごもり需要によってSNSやEC、動画配信サービスへの接触機会が増え、大手プラットフォームを中心とした運用型広告の需要が高まったことにより、1兆4,558億円（同9.7%増）となりました。また、マスコミ四媒体由来のデジタル広告費は、運用型広告の活用がさらに進み、803億円（同12.3%増）となりました。

こうした環境のもと当社グループでは、①メディアレップを中心に広告の販売及びソリューションを提供する「パートナーセールス事業」、②広告配信プラットフォームを運営する「アドプラットフォーム事業」、③自社メディアや、EC・ゲーム・人材領域でのサービスを運営する「コンシューマー事業」の3セグメントにおいて事業を展開し、持続的な成長を実現するべく当社グループ全体での垂直統合を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高12,629百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益2,940百万円（同47.6%増）、経常利益3,301百万円（同76.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,215百万円（同122.3%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、各セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高及び振替高を含む数値を記載しております。

また、第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い、従来「アドプラットフォーム」セグメントに含まれていた一部の事業を「パートナーセールス」セグメントに区分を変更しております。そのため、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の報告セグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①パートナーセールス事業

パートナーセールス事業では、メディアレップを中心に広告枠の販売及びソリューションの提供を行っております。運用型広告や販促・EC関連サービスへの取り組み、自社商材・ソリューションの販売拡大等による、新たな収益源の獲得に取り組むとともに、従来のメディアレップマージンを確保すべく業務効率化を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるパートナーセールス事業の売上高は5,793百万円（前年同期比33.0%増）、セグメント利益は1,755百万円（同94.7%増）となりました。

②アドプラットフォーム事業

アドプラットフォーム事業では、運用型広告プラットフォームとして「Zucks」、「PORTO」、「テレシー」等の運営を、メディア支援サービスとして「fluct」や「BEYOND X」等の運営を行っております。各プラットフォーム及びサービスにおける機能の向上・拡充に取り組むとともに、顧客企業の需要を取り込み、堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるアドプラットフォーム事業の売上高は3,546百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント利益は938百万円（同12.2%増）となりました。

③コンシューマー事業

コンシューマー事業では、「ECナビ」や「PeX」を中心とした販促メディアや、「神ゲー攻略」や「コトバンク」といったコンテンツメディアの運営に加え、EC・ゲーム・人材領域でのサービスの運営を行っております。既存メディアの規模拡大や成長領域への取り組みの強化を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるコンシューマー事業の売上高は3,295百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益は246百万円（同3.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末より1,607百万円減少し、47,651百万円となりました。これは、主に売掛金の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末より3,423百万円減少し、21,282百万円となりました。これは、主に買掛金の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末より1,815百万円増加し、26,369百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、17,949百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは3,498百万円の増加（前年同期間は1,159百万円の増加）となりました。主な要因は、仕入債務の減少により資金が減少したものの、売上債権の減少及び税金等調整前四半期純利益の計上により資金が増加したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは350百万円の減少（前年同期間は466百万円の増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出により資金が減少したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,032百万円の減少（前年同期間は632百万円の減少）となりました。主な要因は、配当金の支払により資金が減少したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、売上高は、アドプラットフォーム事業において広告クリエイティブ審査体制の強化による減少が見込まれるものの、パートナーセールス事業において昨年の新型コロナウイルス感染拡大の影響により抑制されていたブランド広告の出稿需要が4月以降も衰えることなく好調に推移したことにより、前回発表予想を上回る見込みとなっております。

また、売上高ミックスが変化し利益率が向上したことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及びEBITDAについても、前回発表予想を上回る見込みとなっております。

詳細については、本日（2021年8月6日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,600	17,949
売掛金	17,697	14,234
有価証券	95	115
商品	29	31
貯蔵品	535	629
その他	3,097	1,846
貸倒引当金	△51	△51
流動資産合計	37,004	34,754
固定資産		
有形固定資産	1,276	1,553
無形固定資産		
のれん	2,317	2,103
その他	3,144	2,975
無形固定資産合計	5,462	5,079
投資その他の資産		
投資有価証券	3,959	4,883
繰延税金資産	155	185
その他	1,402	1,198
貸倒引当金	△0	△2
投資その他の資産合計	5,516	6,263
固定資産合計	12,255	12,896
資産合計	49,259	47,651
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,655	12,429
資産除去債務	70	—
賞与引当金	1,193	913
役員賞与引当金	24	3
ポイント引当金	515	544
未払法人税等	—	720
預り金	2,963	3,023
短期借入金	19	—
1年内返済予定の長期借入金	118	118
その他	1,725	1,987
流動負債合計	23,287	19,740
固定負債		
長期借入金	180	120
資産除去債務	397	397
繰延税金負債	596	777
その他	243	246
固定負債合計	1,417	1,542
負債合計	24,705	21,282

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,111	1,150
資本剰余金	12,031	12,077
利益剰余金	11,046	11,999
自己株式	△264	△0
株主資本合計	23,924	25,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	463	981
為替換算調整勘定	△10	6
その他の包括利益累計額合計	452	988
新株予約権	7	7
非支配株主持分	170	146
純資産合計	24,553	26,369
負債純資産合計	49,259	47,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	11,113	12,629
売上原価	1,547	1,377
売上総利益	9,566	11,251
販売費及び一般管理費	7,573	8,310
営業利益	1,992	2,940
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	32
投資事業組合運用益	5	6
為替差益	—	231
持分法による投資利益	—	19
雑収入	11	77
その他	36	19
営業外収益合計	69	386
営業外費用		
支払利息	0	1
持分法による投資損失	83	—
投資事業組合運用損	67	24
為替差損	35	—
その他	1	—
営業外費用合計	188	25
経常利益	1,874	3,301
特別利益		
投資有価証券売却益	166	258
関係会社株式売却益	46	—
その他	14	0
特別利益合計	227	258
特別損失		
固定資産除却損	57	39
投資有価証券売却損	77	2
投資有価証券評価損	31	33
持分変動損失	—	11
減損損失	—	74
その他	10	—
特別損失合計	177	162
税金等調整前四半期純利益	1,924	3,398
法人税等	903	1,206
四半期純利益	1,021	2,192
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	25	△23
親会社株主に帰属する四半期純利益	996	2,215

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	1,021	2,192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	558
為替換算調整勘定	△0	2
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△24
その他の包括利益合計	6	535
四半期包括利益	1,027	2,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,002	2,751
非支配株主に係る四半期包括利益	25	△23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,924	3,398
減価償却費	384	363
減損損失	—	74
のれん償却額	143	158
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△34	2
持分法による投資損益 (△は益)	83	△19
売上債権の増減額 (△は増加)	6,784	3,463
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△91	△96
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,112	△4,226
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△746	△280
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27	△21
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	34	28
投資有価証券売却損益 (△は益)	△89	△258
関係会社株式売却損益 (△は益)	△46	—
持分変動損益 (△は益)	—	11
固定資産除却損	57	39
受取利息及び受取配当金	△16	△32
未収入金の増減額 (△は増加)	1,056	191
その他	△642	770
小計	1,663	3,568
利息及び配当金の受取額	16	32
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△519	△100
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,159	3,498
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31	△346
無形固定資産の取得による支出	△89	△197
資産除去債務の履行による支出	—	△63
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△222	△256
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	480	330
敷金及び保証金の差入による支出	△1	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	205
貸付けによる支出	△135	△105
貸付金の回収による収入	11	103
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	16	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	358	—
その他	79	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	466	△350

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△19
長期借入金の返済による支出	△136	△60
ストックオプションの行使による収入	1	80
配当金の支払額	△203	△1,004
自己株式の取得による支出	△265	△0
リース債務の返済による支出	△30	△27
その他	2	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△632	△1,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	233
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	964	2,348
現金及び現金同等物の期首残高	14,546	15,600
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,511	17,949

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年6月15日開催の取締役会に基づき、2021年6月30日付で自己株式289,420株の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が254百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は0百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	パートナーセ ールズ事業	アドプラット フォーム事業	コンシューマ ー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,354	3,543	3,215	11,113	—	11,113
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	15	—	15	△15	—
計	4,355	3,558	3,215	11,129	△15	11,113
セグメント利益	901	836	254	1,992	—	1,992

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	パートナーセ ールズ事業	アドブラット フォーム事業	コンシューマ ー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,793	3,540	3,295	12,629	—	12,629
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6	—	6	△6	—
計	5,793	3,546	3,295	12,635	△6	12,629
セグメント利益	1,755	938	246	2,940	—	2,940

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「コンシューマー事業」において、連結子会社であるrakanu(株)の事業計画に対する進捗状況や今後の業績見通しを踏まえて検討した結果、同社株式取得時に計上したのれん未償却残高のうち74百万円を当第2四半期連結累計期間に減損損失として特別損失に計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い、従来「アドブラットフォーム」セグメントに含まれていた一部の事業を「パートナーセールス」セグメントに区分を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。